

# 排水路集塵対策用グレーチングカバー

ロードガッターとグレーチングの段差を解消し、グレーチング部へのゴミ溜まりを防止します。

## 【ロードガッターとグレーチング部の課題】



高速道路の中央分離帯には、降雨の際に路面に水があふれないように、排水側溝（ロードガッター）が設けてあり、一定区間（200mごと）に小型グレーチングを設け、水を地下の排水管に逃がしています。さらに一定区間で大型グレーチングを設け、小型グレーチングで逃げ切れない水を逃がしています。このロードガッターと小型グレーチング部には、構造上段差が発生し、水の流れに大きな抵抗が生じ、落ち葉やゴミがそこに溜まりグレーチングの孔を塞いでしまい、水が地下の排水管に落ちず、道路に溢れてしまいます。そしてそのままでは排水ができなくなるため、道路維持管理部門が定期的に清掃をしています。

## 【グレーチングカバーにより課題を解決】



ゴミが溜まる要因として、ロードガッターとグレーチングの位置関係により段差が発生していることがあります。このため、この段差を埋める部品を考案して道路維持管理部門へ提案しました。現在の試験設置しており、定期的に状況を調査しています。

